

インフラ・ザ・ジャパンの運用状況

インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(円投資型)/(米ドル投資型)/(豪ドル投資型)

追加型投信/国内/資産複合

2018年5月23日

足元の投資環境について

大手ゼネコンの業績予想の上方修正に期待

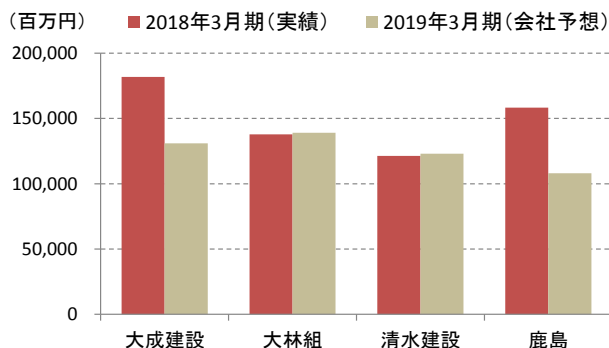
労務費や資材費の上昇懸念を背景に、大手ゼネコン(総合建設会社)4社は2019年3月期の会社予想について慎重な見通しを示しました【図表1】。しかし、それを受けて過度に悲観的になる必要はないと考えています。建設会社は、毎年1-3月期に集中する設計変更や追加工事による収益貢献を期初予想に織り込まないため、業績見通しは保守的になる傾向があります。大手ゼネコン4社の2018年3月期の受注残高合計は、7兆5175億円と過去最高水準に達したことに加え、首都圏の再開発などの建設需要が旺盛であることから価格交渉力は高まっており、当面大幅な受注減や採算悪化が生じる可能性は低いと考えられます。保守的な業績見通しは、今後、上方修正される公算が大きいと期待されます。

旺盛な需要から拡大が見込まれるホテル型リート

4月中旬以降、J-REIT市場において一部ホテル型リートの堅調な値動きが目立っています【図表2】。ジャパン・ホテル・リートが保有するホテルが今年1月から3月にわたって、販売可能な客室1室当たりの売上げであるRevPARと、客室稼働率が順調に伸びたことや【図表3】、JTB社が、先月に今年のゴールデンウィーク中の旅行者数が過去最多になると予測したことが材料視され、運用収益の拡大への期待から買いが膨らみました。

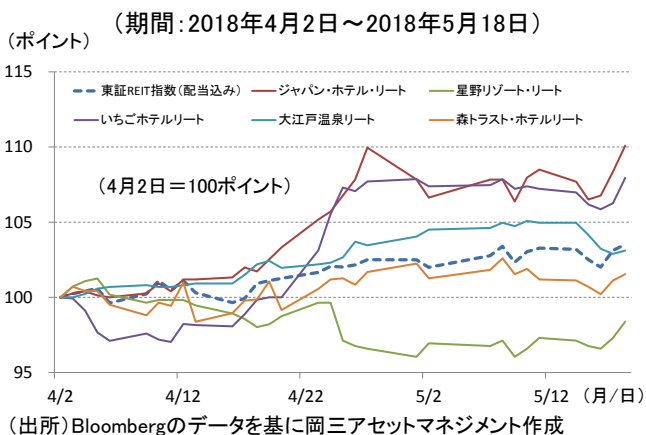
良好な内外要因から、好調なホテル需要は今後も継続すると見込まれます。4月の訪日客数が、290万700人と単月ベースで過去最高を更新し、旺盛なインバウンド需要に衰える兆しはみられません。一方、国内企業の賃上げや働き方改革の推進によるレジャー消費の促進効果も、ホテル需要の拡大を後押しすると考えられます。このような環境の中で、強い運営力を発揮し、持続的な成長が実現できるホテル型リート銘柄に注目していきたいと考えています。

図表1. 大手ゼネコン4社の営業利益見通し

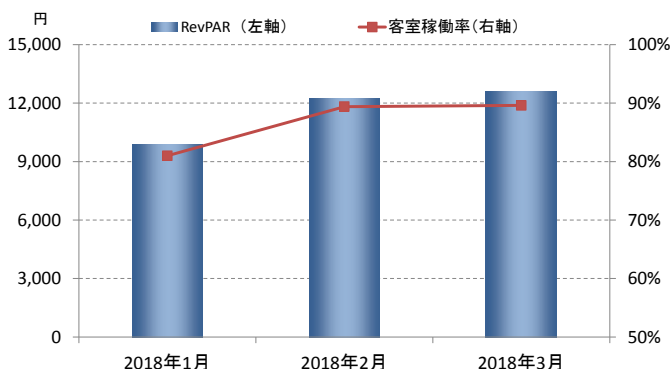


(出所) 各社の情報開示資料より岡三アセットマネジメント作成

図表2. ホテル型リートの投資口価格の推移



図表3. ジャパン・ホテル・リートのホテル運営状況



(注) RevPAR: 販売可能な客室1室当たりの売上げ

(出所) 同社の情報開示資料より岡三アセットマネジメント作成

本資料における銘柄紹介は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(円投資型)/(米ドル投資型)/(豪ドル投資型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(円投資型)/(米ドル投資型)/(豪ドル投資型) 追加型投信／国内／資産複合

※「円投資型」、「米ドル投資型」、「豪ドル投資型」のファンドがあります。

「米ドル投資型」は米ドル、「豪ドル投資型」は豪ドルへの投資成果を享受することを目指します。

※3つのファンド間でスイッチングが可能です。

※インフラ関連好配当資産マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。

運用状況

-2018年5月21日現在-

基準価額、組入比率等の概要

	基準価額 (1万口あたり) (円)	2014/11/28以降の 税引き前分配金 累計額(円)	2014/11/28からの 基準価額の騰落率(%) (税引き前分配金再投資後)	純資産総額 (百万円)	マザーファンド 組入比率(%)	為替 予約比率 (%)
円投資型	11,396	1,640	12.8	8,039	96.4	-
米ドル投資型	9,360	1,100	5.9	23,705	95.0	94.7
豪ドル投資型	9,271	360	-3.2	6,170	94.9	95.0

インフラ関連好配当資産マザーファンド

	組入比率(%)
株式※1	52.9
J-REIT	44.3
短期金融商品・その他	2.7
合計※2	100.0

※1 株式にはインフラ投資法人を含みます。

※2 合計は四捨五入の関係で上記の合計値と一致しないことがあります。

株式組入上位10銘柄

	銘柄名 銘柄コメント	組入比率 (%)	予想配当 利回り(%)
1	オリックス リース等の金融インフラ事業	4.8	3.5
2	SBIホールディングス ITを活用した金融インフラ事業	4.4	3.3
3	伊藤忠商事 資源・エネルギーインフラ事業	3.6	3.5
4	三菱商事 資源・エネルギーインフラ事業	3.4	3.6
5	小松製作所 建設機械の世界的大手。インフラ建設	2.7	2.5
6	いすゞ自動車 特に小型商用車が得意な物流インフラ事業	2.6	2.2
7	三菱UFJフィナンシャル・グループ 世界的に金融インフラを提供	2.5	2.8
8	大和ハウス工業 多分野で住宅や各種施設のインフラを提供	2.2	2.5
9	セネコーグループホールディングス 企業物流の大手。効率的な物流インフラを提供	2.2	3.0
10	東京急行電鉄 鉄道事業などの物流インフラ事業	2.2	1.1

J-REIT組入上位10銘柄

	銘柄名 銘柄コメント	組入比率 (%)	予想配当 利回り(%)
1	野村不動産マスターファンド投資法人 東京圏中心に投資を行う総合型	2.8	3.6
2	日本リアルファンド投資法人 日本初の商業施設特化型REIT。商業型	2.2	4.3
3	イオンリート投資法人 イオングループ商業施設等に投資する商業型	2.1	4.7
4	大和ハウスリート投資法人 物流及び住宅等に投資する総合型	2.0	3.9
5	GLP投資法人 日本最大級の資産規模を誇る物流型	1.9	4.1
6	いちごオフィスリート投資法人 オフィスを中心に投資する総合型	1.8	4.7
7	アクティバ・フロアティーズ投資法人 都市型商業施設や東京のオフィスに投資	1.7	3.8
8	ケネディ・レジデンシャル・ネクスト投資法人 アパートなどの住宅用不動産に投資する住宅型	1.7	4.6
9	オリックス不動産投資法人 オフィス、物流などに投資する総合型	1.7	3.8
10	日本プライムリアルティ投資法人 オフィスや商業施設などに投資する総合型	1.5	3.6

※組入比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「インフラ関連好配当資産ファンド（毎月決算型）（円投資型）／（米ドル投資型）／（豪ドル投資型）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(円投資型)/(米ドル投資型)/(豪ドル投資型)
追加型投信/国内/資産複合

インフラ・ザ・ジャパン (円投資型) / (米ドル投資型) / (豪ドル投資型) に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式や不動産投資信託証券等価値のある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、「米ドル投資型」、「豪ドル投資型」は、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの基準価額の主な変動要因としては、「株価変動リスク」、「不動産投資信託証券のリスク（価格変動リスク、配当金（配当金）減少リスク）」、「為替変動リスク」、「信用リスク」等があります。
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 配当金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、配当金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。配当金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、配当金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、配当金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、配当金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
- 換金時 換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中 運用管理費用（信託報酬）：純資産総額×年率1.566%（税抜1.45%）
- その他費用・手数料 監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（※運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- 運用管理費用（信託報酬）、監査費用は毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに投資信託財産から支払われます。その他費用・手数料（監査費用を除きます。）はその都度、投資信託財産から支払われます。
- ファンドに係る手数料等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。なお、上場不動産投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託の費用は表示していません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型)(円投資型)/(米ドル投資型)/(豪ドル投資型)
追加型投信／国内／資産複合
2018年5月23日現在

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
今村証券株式会社	北陸財務局長(金商)第3号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
(登録金融機関)					
株式会社近畿大阪銀行	近畿財務局長(登金)第7号	○			
株式会社埼玉りそな銀行	関東財務局長(登金)第593号	○		○	
株式会社りそな銀行	近畿財務局長(登金)第3号	○		○	

<本資料に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)